



2011年6月2日

報道関係各位

TIS 株式会社

TIS、『IFRS 金融商品会計ソリューション』の提供を開始 － 短期間、低コストでのIFRS 金融商品会計システム導入を実現 －

ITホールディングスグループのTIS株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:桑野 徹、以下TIS)は、昨年より提供を開始した「IFRS 個別論点对応支援サービス」(※1)の第一弾として銀行、保険、クレジットカードなどの金融機関を対象とした『IFRS 金融商品会計ソリューション』を8月1日よりサービス提供開始することを発表します。

『IFRS金融商品会計ソリューション』(ソリューションの詳細はTISホームページご参照ください ⇒ http://www.tis.jp/service_solution/ifrs_account/)はIFRS対応プロセス整備、IFRS金融商品会計対応のシステム導入・運用を支援するサービスです。TISは、償却計算、公正価値評価、減損などについてIFRS対応が求められている銀行、保険、クレジットカードなどの金融機関を中心に『IFRS金融商品会計ソリューション』を提供し、2015年までに30件のサービス提供を目指します。

金融機関がIFRSに対応する際、最も大きな影響を受ける論点の一つが「IFRS 金融商品会計」です。IFRSでは保有する金融商品分類の見直し、償却原価または公正価値による測定、減損およびヘッジ会計の変更、さらには開示情報の拡大など広い範囲での対応が求められています。これらの論点に対応するために金融機関は幅広い金融商品のIFRS評価プロセスの確立、効率的IFRS評価を実現するシステム構築が必要となります。しかし、多くの金融機関ではノウハウや事例の不足、変化する基準への効率的対応、コストを抑制したプロセス・システムの導入などの多くの課題が想定されます。

TISが提供する『IFRS 金融商品会計ソリューション』では、業務・システム両面をカバーしたIFRS 金融商品会計の導入方法論、IFRS 基準での評価、仕訳、開示のテンプレートを備えており、それらを業務・システム検討の基礎として活用することで、効率的なIFRS 評価プロセスの整備、システム構築コストの抑制、構築期間の短期化に寄与します。

<『IFRS 金融商品会計ソリューション』の概要>

『IFRS 金融商品会計ソリューション』は、“影響調査”、“要件整理”から“システム構築”、“移行”まで「IFRS 金融商品会計」論点に係る全てのフェーズに関する対応をワンストップで支援するサービスです。

『IFRS 金融商品会計ソリューション』は、システム要件整理やデータ移行に関する導入方法論等を活用した「コンサルティングサービス」と、効率的なシステム導入および今後の制度変更への継続対応を考慮しながらシステム構築を支援する「システム構築支援サービス」から構成されています。

■ コンサルティングサービス

IFRS 金融商品会計の各論点(分類、当初認識、償却原価等)について、論点整理、影響調査、システム開発、データ移行等、システム導入時に検討すべき事項を整備した導入方法論を活用し、効

率的なシステム導入に向けた支援をします。

■ システム構築支援サービス

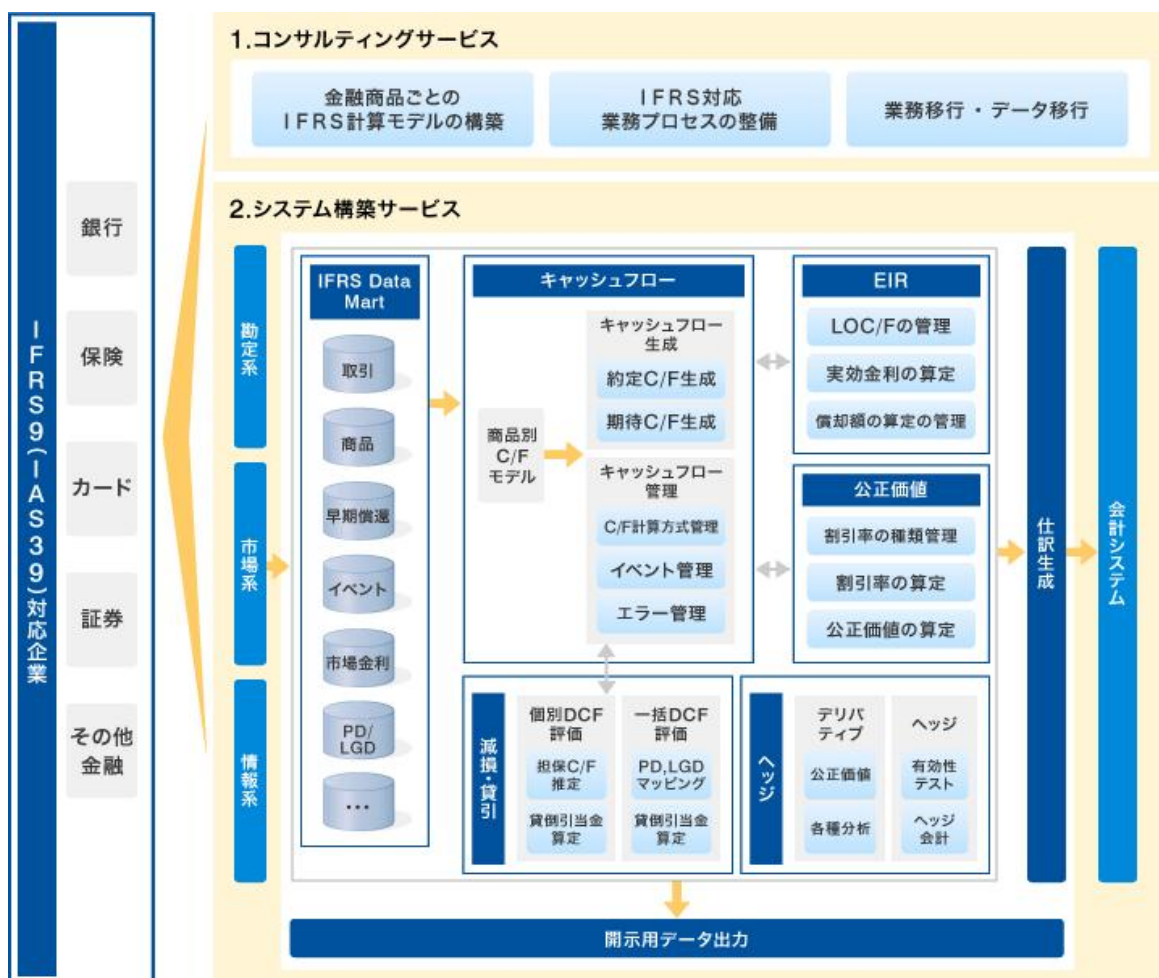
システム構築支援サービスでは、韓国の株式会社ティーマックスソフト(以下 TmaxSoft 社)のパッケージソフト「ProIFRS/V」「ProDeriva」(※2)をベースに、TIS が日本市場向けにカスタマイズをしてお客様へのシステム導入を行います。

IFRS 対応で先行する韓国において豊富な導入実績を保有している「ProIFRS/V」「ProDeriva」に、貸付金評価に係るボーナス併用払いへの対応など日本特有のシステム要件を組み込むとともに、仕訳・開示要件の標準機能化を整備し、効率的な IFRS 対応システムの構築を実現します。

[特長]

- ・ IFRS 金融商品会計の基本要件(分類、測定、減損、ヘッジ会計、仕訳、開示)をカバー
- ・ リボ払い、ボーナス併用払い等、日本特有の要件に対応
- ・ PD(デフォルト確立)、LGD(デフォルト時損失率)等信用パラメータの算出機能も保有し、信用リスク管理にも寄与
- ・ モジュール単位での導入が可能で過剰対応を回避し、最適コストでの導入を実現
- ・ プラグイン形式での機能追加などの追加開発が容易

<IFRS 金融商品会計ソリューション全体概要図>



<『IFRS 金融商品会計ソリューション』のメリット>

- ・ 導入方法論、テンプレートを活用した効率的な IFRS 対応プロセス整備、IFRS 金融商品会計対応システムの導入が可能
- ・ IFRS 金融商品会計の制度変更については、IFRS 対応製品としてのアップデートで適宜対応
- ・ TIS、TmaxSoft 社との密な連携による適切なサポートを実現

<提供開始時期>

2011 年 8 月 1 日～

<提供予定価格>

(1)コンサルティングサービス : 300万円(税別)～

※上記金額は、主な金融商品に対して2ヶ月程度で実施した場合の参考価格です。

保有する金融商品の種類、対象とする業務・システム範囲、社数、期間などにより変動します。

(2)システム構築支援サービス : 要件を基に個別に御見積りします。

※システム化対象とする業務、社数などにより変動します。

<今後の展開>

TISでは、「IFRS個別論点对応支援サービス」の「固定資産」や「連結会計」の論点でも、今後、順次サービス提供を開始していきます。

また、IFRS対応に役立つ情報を提供するセミナーや勉強会の開催、特定業界に特化した情報交換の場の提供(※3)などを通して、IFRS対応に課題や悩みをお持ちの企業に有用な情報を提供していきます。

■日本ティーマックスソフト株式会社のコメント

日本ティーマックスソフト株式会社 代表取締役社長 榎本幹士

「この度の『IFRS金融商品会計ソリューション』のサービス提供開始に際し、TIS株式会社と日本ティーマックスソフト株式会社は、今後密接なパートナーシップを確立し、ビジネスを推進してまいります。当社は韓国で培ったIFRS対応製品の導入実績を生かし、日本のお客様へ最高の製品技術をお届けすることを目指しております。企業のシステム環境が時代とともにめまぐるしく変化する中、常に業界をリードしておられるTIS様によって提供されますIFRS金融商品会計ソリューションは、高い精度と制度変更への迅速な対応が求められます金融商品会計の分野において、きわめて有効なソリューションであると考えております。当社としても大きな期待を寄せますとともに、製品技術を提供いたします立場として積極的なサポートを推進して参りたいと存じます」

■株式会社ティーマックスソフト、ならびに日本ティーマックスソフト株式会社について

株式会社ティーマックスソフトは、1997年に韓国で設立された企業の情報システム構築のためのミドルウェア製品およびソリューションを開発・販売するソフトウェアベンダーです。1997年、トランザクション・モニター「Tmax」のリリース以来、ティーマックスソフトの製品とソリューションは、ミッションクリティカルな大規模システムに数多く採用され、安定したサポートを提供しております。会社設立から現在に至るまで、韓国・日本・アメリカなどの、官公庁、金融、製造、情報通信などの各分野で、約1,400社以上のクライアント

様をご支援してまいりました。製品ラインナップとしては、「Tmax」の他、メインフレーム・リホスティング・ソリューション「Tmax OpenFrame」、Web アプリケーションサーバ「JEUS」、データベース管理ソリューション「Tmax Tiberio」などを含む幅広い製品群とソリューションを取り揃えております。

日本ティーマックスソフト株式会社は、ティーマックスソフト社の海外初の現地法人として2000年に設立されました。日本国内を拠点として、ティーマックスソフト社のミドルウェア製品およびソリューション製品の販売・サポートを行っております。

※1:「IFRS個別論点对応支援サービス」について

TISでは、2009年10月より「IFRS対応支援サービス」を提供しています。同サービスの一つである「IFRS個別論点对応支援サービス」は、「固定資産管理」、「金融商品会計」、「連結会計」といったIFRS適用により既存の業務プロセスやシステムへの影響が特に大きい領域に対して深く支援を行うサービスです。これら3つの業務領域は、特に企業の対応負荷が高く支援のニーズも高いと考えられ、TISの専門部隊がコンサルティングからシステム導入までをワンストップで支援することで、現場の業務負荷を抑えた効率的なIFRS対応や着実なシステム導入・改訂など、企業に大きなベネフィットを提供します。

※詳細は、http://www.tis.jp/service_solution/ifrs/をご覧ください。

※2:「ProIFRS/V」「ProDeriva」について

TmaxSoftの「ProIFRS /V」は、キャッシュフロー、実効金利、公正価値、貸倒引当金等のモジュールで構成されており、また既存システムとのデータ・インターフェースのためのデータマートも構成しています。「ProDeriva」は、デリバティブの公正価値評価およびヘッジ有効性評価、ヘッジ会計処理機能を提供しています。

※3: TISの特定業界に特化した情報交換の場の提供について

2010年9月14日発表の「TIS保険業界に特化したIFRS研究・情報共有を目的とした『保険IFRSコンソーシアム』を設立」(http://www.tis.co.jp/news/2010/___icsFiles/afieldfile/2011/03/30/100914.pdf)をご参照ください。

【本件に関する問い合わせ先】

<報道関係お問い合わせ先>

TIS株式会社

企画本部 広報部

担当: 浄土寺、畠山

TEL: 03-5402-2133 FAX: 03-5402-2433 e-mail: info@tis.co.jp

<サービスに関するお問い合わせ先>

TIS株式会社

ITソリューションサービス本部 ITソリューションサービス事業部 マーケティング担当

担当: 伊丹、河口

TEL: 03-5402-2168 e-mail: solution@tis.co.jp